

平成 24 年度再評価対象事業 (事業採択後、一定期間 (5~10年) が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)

番号	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済 情勢等の変化	費用対効果 の要因の変化	コスト削減や代替案 等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業課)	備考
	一般県道嬉野下宿塩田線 社会資本整備総合交付金 事業主体：県 事業地：嬉野市	本路線は、旧嬉野町と旧塩田町とを結ぶ重要な路線であるばかりでなく、(主)佐世保嬉野線を介して旧嬉野町の長崎自動車道嬉野インターと直結し、更に嬉野トンネルを通じ、長崎県波佐見町へのアクセス道路としても重要な路線である。 また、国道34号を補完する道路でもあり、嬉野町市街地の慢性的な交通混雑の解消を図ることが可能となる。 沿線には、老人ホームや中学校、広域(みゆき)公園等が点在するが、アクセス道路の整備は十分ではなく、幅員も狭小で、歩道も無く、屈折箇所も多数有り、危険な状況である。 また、近傍には九州新幹線西九州ルートが開業し、嬉野温泉駅(仮称)が出来ることから更なる交通量の増加が予想される。 そのため、交通の円滑化及び自歩行者の安全確保を図る。	全体事業費：20.8億円 工期：H15～H28 事業内容： 延長 L=1,970m 幅員 W=15.0(6.5)m 改良工 L=1,970m 舗装工 L=1,970m 测试 1式 用地補償 1式	H23末進捗率：約55% (事業費ベース) (年平均進捗率6%) ○用地買収は一部残っている。 H23末用地進捗約98% (面積ベース) ○国道34号取付部工事済み H23末工事進捗約46%	交通量の推移(嬉野IC西) H9 3,749台/日(基準) H11 3,536台/日(0.94) H17 4,464台/日(1.19) H22 4,326台/日(1.15) 概ね10年後に九州新幹線西九州ルートが開業し、近傍に嬉野温泉駅(仮称)が出来ることから、更なる交通量の増大が予想される	事業採択時と比較して大きな要因の変化は見られない。 B/C = 2.9	(コスト削減) ・再生資材の利用促進を図っている。 ・工事で発生する残土を盛土等に流用する。 ・工事で発生する残土を他工事の盛土材に流用する。 (代替案の検討) ・特になし	着手より10年経過のため再評価	継続 ・事業の必要性に変化が無い。 ・現在も、依然として交通の円滑化と交通安全の確保が出来ていない事から、引き続き事業を継続したい。	

